

学校保健委員会を開催しました！

私たちの大切な命を守ろう！
－ A E D を使った救急法を学ぼう－



6月8日(月)に学校保健委員会を開催しました。

各部活動の代表生徒、保健委員、教職員など約80名が参加し、春日井消防署東出張所救急隊員の方々から救急法を学びました。8つのグループに分かれて、人工呼吸や心臓マッサージの仕方、AEDの使い方などを実習しました。

学校保健委員会でAEDを取り入れた救急法の実習に取り組むようになって、今年で3年目になります。この会で救急法の知識を身につけた生徒が少しずつ増えています。プールの授業も始まり、これから暑い夏に向けて熱中症の心配も出てきます。この会で学んだ生徒が核となって協力し合い、緊急時に的確に対応できることを期待します。

学校保健委員会に参加した生徒の感想

- 私は、意識を失った人を見たり、助けたりしたことがなかったので、大きな声を出して呼びかけることが恥ずかしかったです。しかし、人を助ける気持ちを持って頑張りました。この体験で難しかったのは、心臓マッサージでした。強く押すことが難しかったけれど、このAEDを使った救急法は、いつかきっと役に立つと思うので、いい経験になったと思う。(1年女子)
- AEDの使い方や、心臓マッサージ、人工呼吸など人の命を守る大事なことを教えてもらった。AEDの使い方は、機械が自動で「○○してください」と言ってくれるので、とても簡単にわかった。(1年男子)
- 心臓マッサージ30回、その後人工呼吸を2回するとよいことを初めて知った。(2年男子)
- AEDは知っていたけれど、使ったのは初めてだった。難しいのかなと思っていたけれど、機械が説明してくれて、意外と簡単だった。(2年女子)
- 救急隊の人のお話を聞き、やり方を教えてもらった。「やってみて！」と言われた時は緊張したし恥ずかしかったけれど、もしも、部活動中に誰かが倒れたりしたら大変だなあと思い、まじめに参加した。(2年女子)
- 実際にやってみるとあせってしまい、上手くできなかった。頭ではわかっているけど、落ち着いてやるのは難しく、普段からの訓練が必要だなと思った。だけど、今回、何度も練習したのでバッチリです。もしもの時は、すすんで人を助けたい。(2年女子)
- 人の命を助けるには“落ち着く”ということが大切だとわかった。実際にやってみて、練習なのにすごくあせり、大切な「119番に電話して！」や「AEDを持ってきて！」ということを忘れていた。本当に道で人が倒れていたら、もっともっと戸惑ってしまうと思う。今回勉強して理解したので、あとは“落ち着く”“勇気を出す”ことをすれば、命を助けることができると思う。(2年女子)

- AED や AED を使った救急法をあまりよく知らなかったの、きょうの実習はとても役に立った。(2年男子)
- もしもの時のために、たくさんの人が救急法を知っていれば、倒れた人の命が助かる確率が高くなると思った。(2年女子)
- 心臓マッサージはけっこう力があるんだなあとと思った。人工呼吸は、なかなか息が入らなくてすごく難しかった。実際に人が倒れていたら、冷静にいられないと思うけど、今日教えてもらったことが少しでも役に立ったらいいと思う。(3年女子)
- 心臓マッサージがけっこうきつかった。あれを救急隊の人たちが来るまで続けなきゃいけないから大変だなあとと思った。(3年女子)
- AED はよく見るけど、やったのは初めてで勉強になった。これから大人になっても、忘れずに、倒れている人を見たら見て見ぬふりをせずに、対処していきたいと思う。(3年男子)
- 呼吸が止まって3分で脳が死んでしまうそうなので、応急処置は大事だなと思った。AED の使い方も教えてもらい、音声の指示に従えば簡単に使うことができたので、AED があれば誰でも命を救うことができるんだと思った。
- AED は初めて見た。あんなに小さな機械で人の命を救えるなんてすごいと思う。心臓マッサージや人工呼吸は、とても大変だった。心臓マッサージは思ったよりも大変で、1セットやるだけでとても疲れた。(3年女子)
- 去年もやったので、だいぶ上手にできるかなあとと思ったけど、今回は人工呼吸もあって少しあせった。心臓マッサージは、アンパンマンの歌のリズムでやるとちょうどいいそうだ。これは一生忘れずに覚えていると思う。(3年女子)
- 一番大切なのは「早く救急車を呼ぶこと」と「心臓マッサージを続けること」だと教わった。(3年男子)



人は、いつどこで、突然の病気やけがをするかわかりません。あなたがこのような場面に遭遇したら、あなたはどのような行動をとりますか？

命に危険が迫っている人を発見したら、いかに早く手当てを行うかが、その人の将来に大きく影響します。心臓や呼吸が止まった人が助かる可能性は、約10分の間に急激に少なくなります。救急車の到着をただ待つのではなく、その場にいるあなたが医師や救急隊員の到着するまでの間、適切な救急蘇生法をする必要があります。何もせずにみているだけでは、その人の命を助けることはできないのです。

愛・地球博では100台のAED(自動体外式除細動器)が設置され、4名の命を救うことができました。昨年度、本校の職員室にもAED(自動体外式除細動器)が設置されました。私たち一人一人の命はどれもかけがえのない命です。いざというときに勇気を持って対応できるように、適切な救急蘇生法を身につけておくといいですね。

